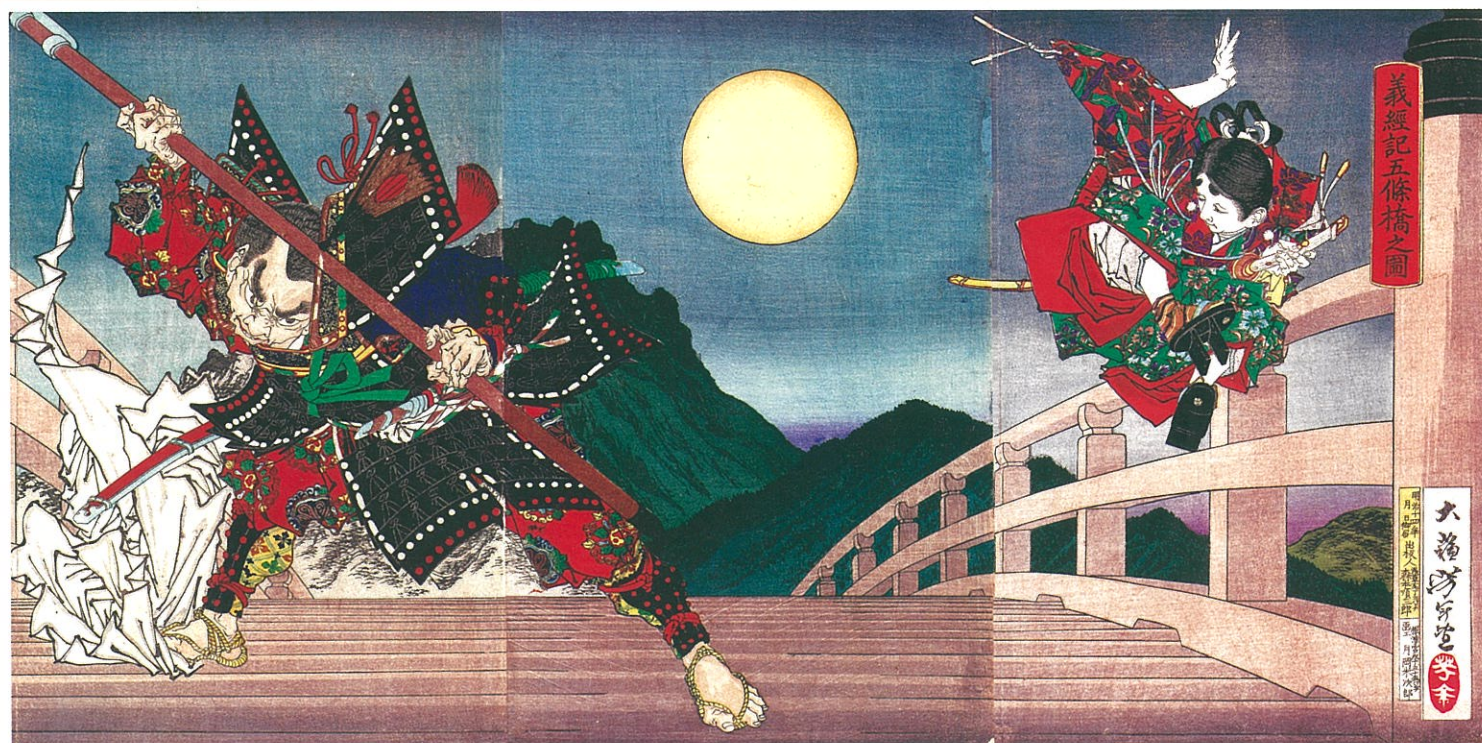


塩竈市遊ホール市民参加企画
SHIOGAMA 能楽 — 序Jo 破Ha 急Kyu プロジェクト



『義経記五條橋之図』月岡芳年 山口県立秋美術館・浦上記念館 所蔵

《序ノ巻》

みちのく義経伝説 橋弁慶

●2020年 3月1日(日)午後2時開演／午後5時開演
※開場は開演の30分前です。

●塩竈市遊ホール(吉番館5階)

宮城県塩竈市本町1番1号(丁R仙石線本塩釜駅から徒歩3分) ※駐車場はございません。

●出演

能楽師・振付

重要無形文化財総合指定保持者

山中迅晶

山中つばめ

塩竈少年少女能楽団



山中迅晶

●料金：一般1,500円(当日1,800円)／18歳以下800円(当日1,100円)

※全席自由席 ※満席の場合は当日券を発行しないことがありますので、ご了承ください。

※お客様の都合による払戻しはお受けすることはありません。※未就学児もお席が必要な場合はチケットをご購入ください。

★プレイガイド：松尾カメラ／メロデイズ／フジサキスポーツ／美容室マサヒコ／金犬くん利府店／

しおがままちの駅／多賀城市文化センター／ヤマザキショップ塩釜すずきや店／塩竈市遊ホール協会吉番館4階

★ローソンチケット Lコード：221135 ★チケットぴあ Pコード：4991562

●主催：塩竈市遊ホール協会

●後援：宮城ケーブルテレビ(株)／ベイウエーブ78.1FM

●お問合せ：塩竈市遊ホール協会

〒985-0052 宮城県塩竈市本町1番1号 吉番館4階 TEL：022-136515000



塩竈市遊ホール市民参加企画

SHIOGAMA 能楽 — 序Jo破Ha急Kyuプロジェクト 《序ノ巻》みちのく義経伝説 橋弁慶

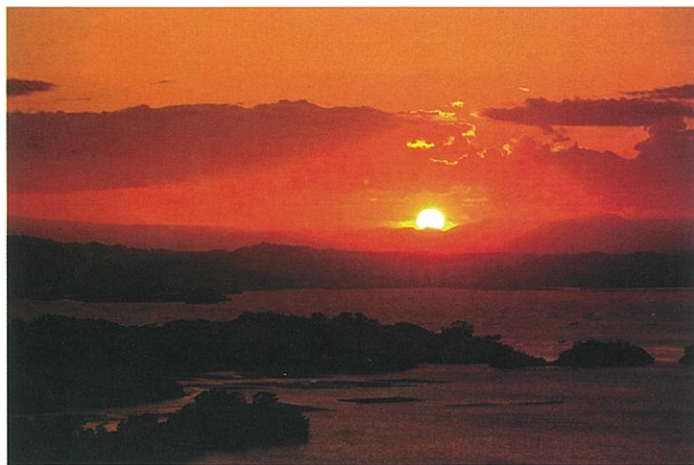


いにしへの頃より、
『しほがま』は美しい姿で、
今もここに存在しています。
みなさんは、塩竈の
壮大な歴史をご存知ですか？

『SHIOGAMA 能楽 — 序Jo破Ha急Kyuプロジェクト』
は、塩竈市遊ホール協会の市民参加型企画提案事業と
して、みなさんとともに、源融が愛した悠久の塩竈へ
の思いをめぐらせ、この郷土の歴史を能楽にて表現し、
ふるさとへの愛着を深めていただくものです。

このプロジェクトは序ノ巻、破ノ巻、急ノ巻と毎年
ステップアップしていきます。

集大成である2022年の急ノ巻では、観客全員で能『融』
の一部を連吟(いっしょに歌う)いたしましょう。



『千賀の浦』写真：高田太郎

今年は《序ノ巻》みちのく義経伝説 橋弁慶
はじまりの年です。地元の6歳から14歳までの少年少女
による塩竈少年少女能楽団を結成し、お稽古をして、基礎
となる謡と舞が集約している『老松』を発表します。能
がはじめての方も楽しめる『橋弁慶』も上演いたします。

日本古来の能楽をいっしょに学んでみませんか。
塩竈少年少女能楽団に是非ご参加ください。

塩竈市遊ホール協会

1,300年余りの長い塩竈の歴史

塩竈は、奈良時代 国府多賀城の津として開かれ、その
景勝は歌枕となり、都人憧れの地となりました。一方、古
代より続く奥州一宮鹽竈神社の門前町として、千賀の浦
と呼ばれる天然の良港を背景に、東北有数の港町とし
て賑わってきました。

『美しい』という言葉の 代名詞だった『しほがま』

塩竈は、浜(ハマ)で美しいことから、葉(ハマ)で美しい
花々(ミヤマシオガマ、シオガマギク、トモエシオガマ等)
に『シオガマ』という名が使われています。

塩竈が美しいと 広く世に伝えた『源融』

左大臣 源融は、嵯峨天皇の皇子で、光源氏のモデルとも
いわれ、西暦 864 年(平安時代)、東北を監視する陸奥出
羽按察使に任命されました。実際に東北(国府多賀城)に
赴いたかは不明ですが、塩竈市内の「融ヶ岡」に館を建て
『しほがまの浦』を愛でたと伝えられています。

京都に造られた『しほがまの浦』と そこを舞台に描かれた『能』

源融は、京都の鴨川のほとり、六条の辺り(下京区本塩竈
町周辺)に『しほがまの浦』を模した大庭園(河原院)を造
りました。そこを舞台に、世阿弥は、融亡き後の逸話を、
能『融』として描いています。

紫式部さえもあこがれた『塩竈』

源氏物語には、融が『しほがまの浦』を模して築いた大
庭園(河原院)が、光源氏の本邸『六条院』や『某の院』
として登場し、彼女が塩竈を詠んだ歌も描かれています。
「みし人の 煙になりし 夕より なぞむつまじき しほがまの浦」
紫式部